

京都市考古資料館特別展示

# 平清盛 — 院政と京の変革 —

期 間:平成24年1月28日(土)から6月24日(日)まで 休館日:月曜日(祝日の場合は翌日) 入館料:無料  
場 所:京都市考古資料館 1階特別展示コーナー

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 (市バス:「今出川大宮」下車すぐ・「堀川今出川」下車西へ2分)

平安時代後期は、日本の歴史における古代から中世への変換期にあたります。政権の所在地であった京都では、院政を行った4人の上皇(白河・鳥羽・後白河・後鳥羽)に権力が集中し、大規模な寺院や殿舎が造営されるとともに経済・流通にも大きな発展が見られました。平清盛は、保元の乱・平治の乱を通じて頭角をあらわし、やがて後白河上皇と対抗するまでの政治力を握るとともに、日宋貿易を推進します。

今回の展示では、京都における平清盛や平氏一門に関わる遺跡・遺物を紹介するとともに、白河から後鳥羽院政期(11世紀後半～13世紀前半)の平安京・京都に起こった変革を、「平清盛と平氏の足跡」・「流通の発達」・「大規模な寺院・殿舎の造営」・「院政期の生活と祈り」の4つのコーナーに分けて考古資料をもとに解説します。ご来館をお待ちしています。




鳥羽殿金剛心院出土荘厳金具

## 展示内容の一部

- ・平氏邸宅(西八条第)出土土器
- ・平頼盛邸出土中国製陶磁器
- ・蓮華王院三十三間堂(平清盛造営)出土瓦
- ・最勝光院(平滋子発願)出土荘厳金具
- ・堀河院(白河天皇里内裏)出土土器
- ・法勝寺八角九重塔復原CG
- ・鳥羽北殿出土孔雀文飾金具
- ・鳥羽殿金剛心院阿弥陀堂扉材
- ・平安京内出土中国・朝鮮製陶磁器
- ・薬の名前を記した白色土器
- ・供養札 物忌札 木製五輪塔

主 催:京都市・財団法人京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

問い合わせ先:京都市考古資料館 電話:075-432-3245 FAX:075-431-3307 <http://www.kyoto-arc.or.jp/museum>

後 援:歴史街道推進協議会  歴史街道